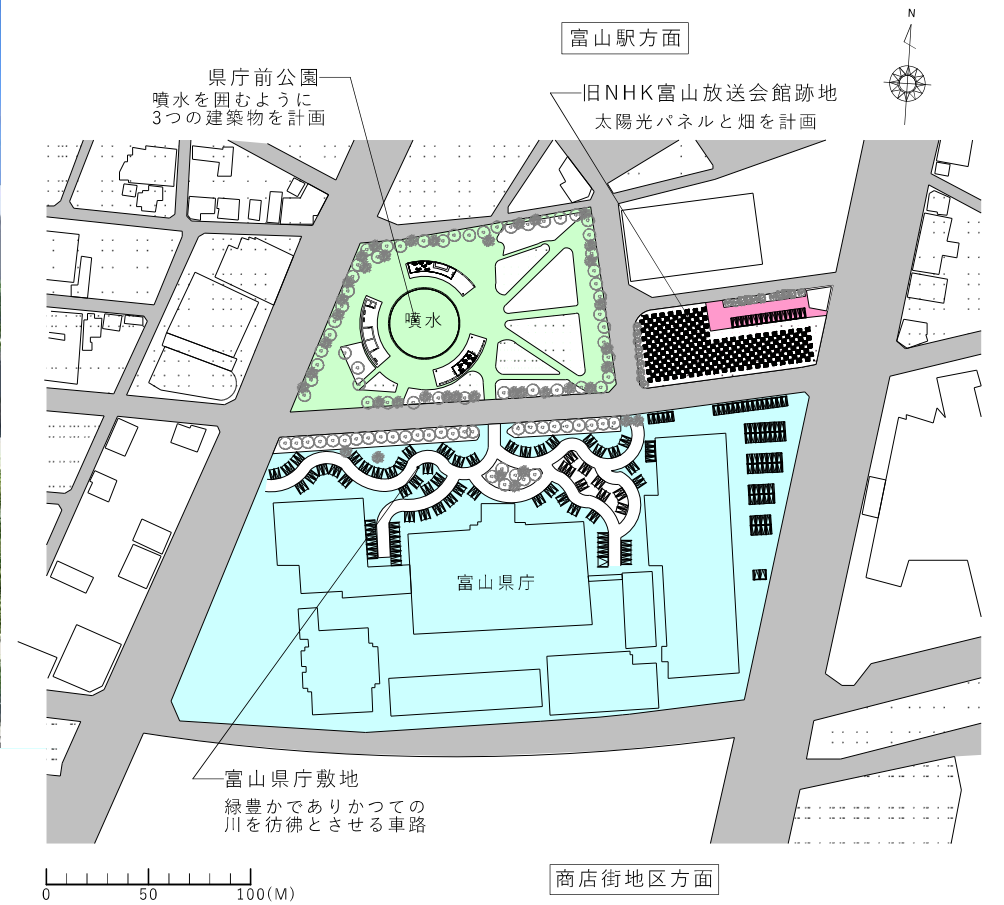
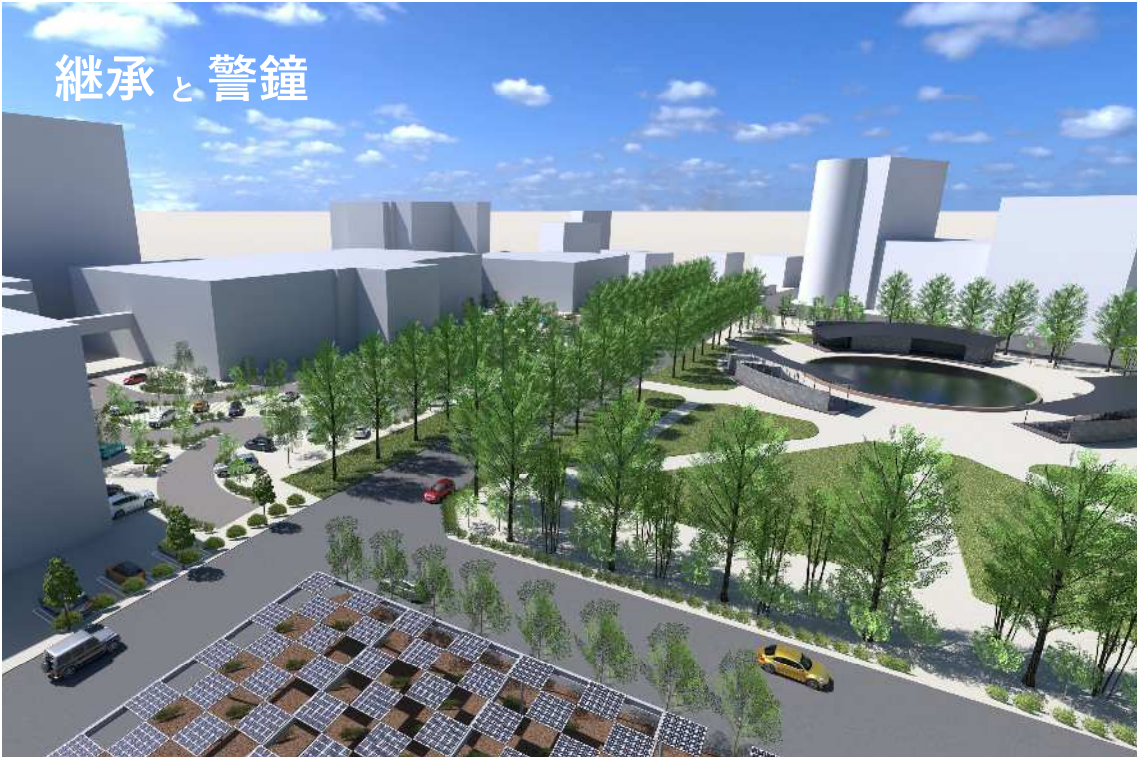


継承と警鐘



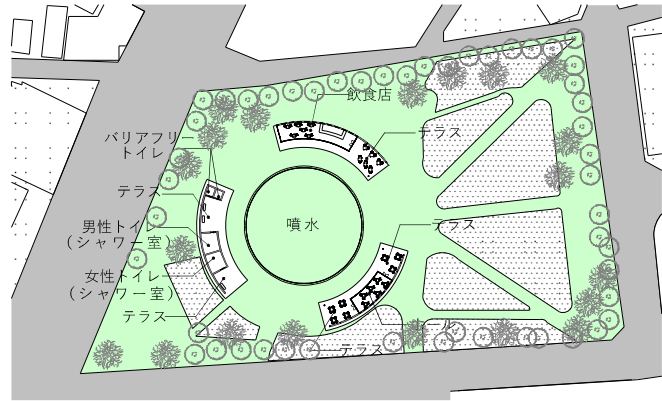
配置図 S=1 : 2500

CONCEPT

富山県庁周辺は、地域の人々の生活を支える施設が数多くある。歴史を継承し、災害等の警鐘を鳴らす場所にしたら良いのではないかと考える。かつて川の氾濫が毎年起こっていたように、これからの日本はどのような災害がいつ来るか全く予想出来ないと言っても過言ではないだろう。有事の際に拠点となるであろう、富山県庁周辺の電力の確保と、畑で採れた食料の確保が出来るように計画している。



県庁前公園エリア



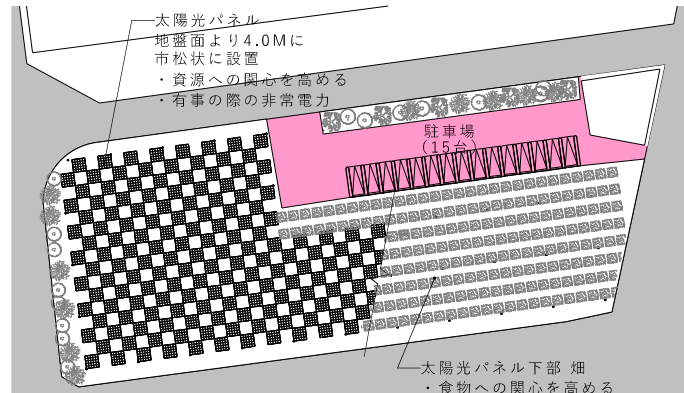
県庁前公園エリア

県庁やオフィス街の憩いの場として、整備されている公園の中にある噴水を中心として、3つの機能を持つ建築物を計画した。1つは、飲食店を設置して平日は周辺で働く人達、休日等は遊びに来た人達の食事の場となる。この飲食店では、隣地にある旧NHK富山放送跡地である畑で採れた野菜を使用し、提供している。もう1つは、公共用のトイレを設けており、男性用トイレ、女性用トイレ、ジェンダーレストイレ兼バリアフリートイレを設けており、人々の多様性に対応出来るようになっている。また、畑で汗をかいても着替えや簡易シャワーを利用する事で気軽に畑に来ることが可能に。もう1つは、室内空間と室外空間にテーブルとイスを設けて誰ものが気軽に休憩出来るスペースとしている。



3つの建築の特徴として、軒を深く設けて夏の日差しや雨天時でも対応可能としている。また、室内空間を設ける事により、寒い日でも快適に過ごす事が出来るように配慮している。

旧NHK跡地エリア



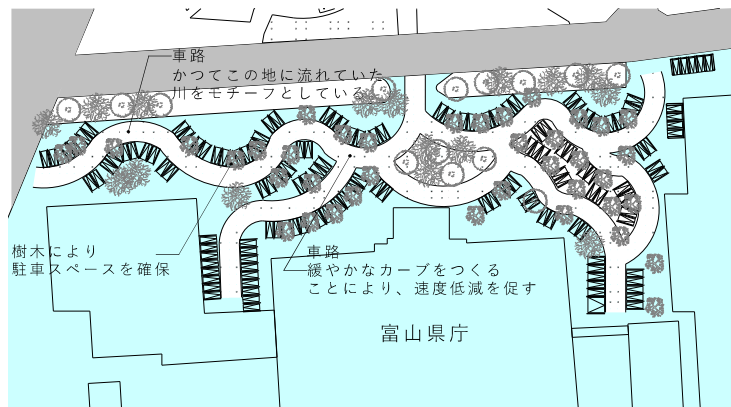
旧NHK富山放送会館跡地

富山県庁の周辺であり、大通りからよく見えるこの土地には、太陽光パネルを設けて有事の際にも電気を確保出来るようにしている。資源を有効活用して、エネルギーに関心を持ってもらうことも大切である。

また、その下部に出来るスペースを市民の方や地域の方ももちろん、この土地を訪れた人が体験できる畑を設けている。この畑で採れた野菜等を、県庁前公園の飲食店で提供したりもする。農作業を通して、食物への関心を高めてより食物を大切に日々を暮らしてもらう。



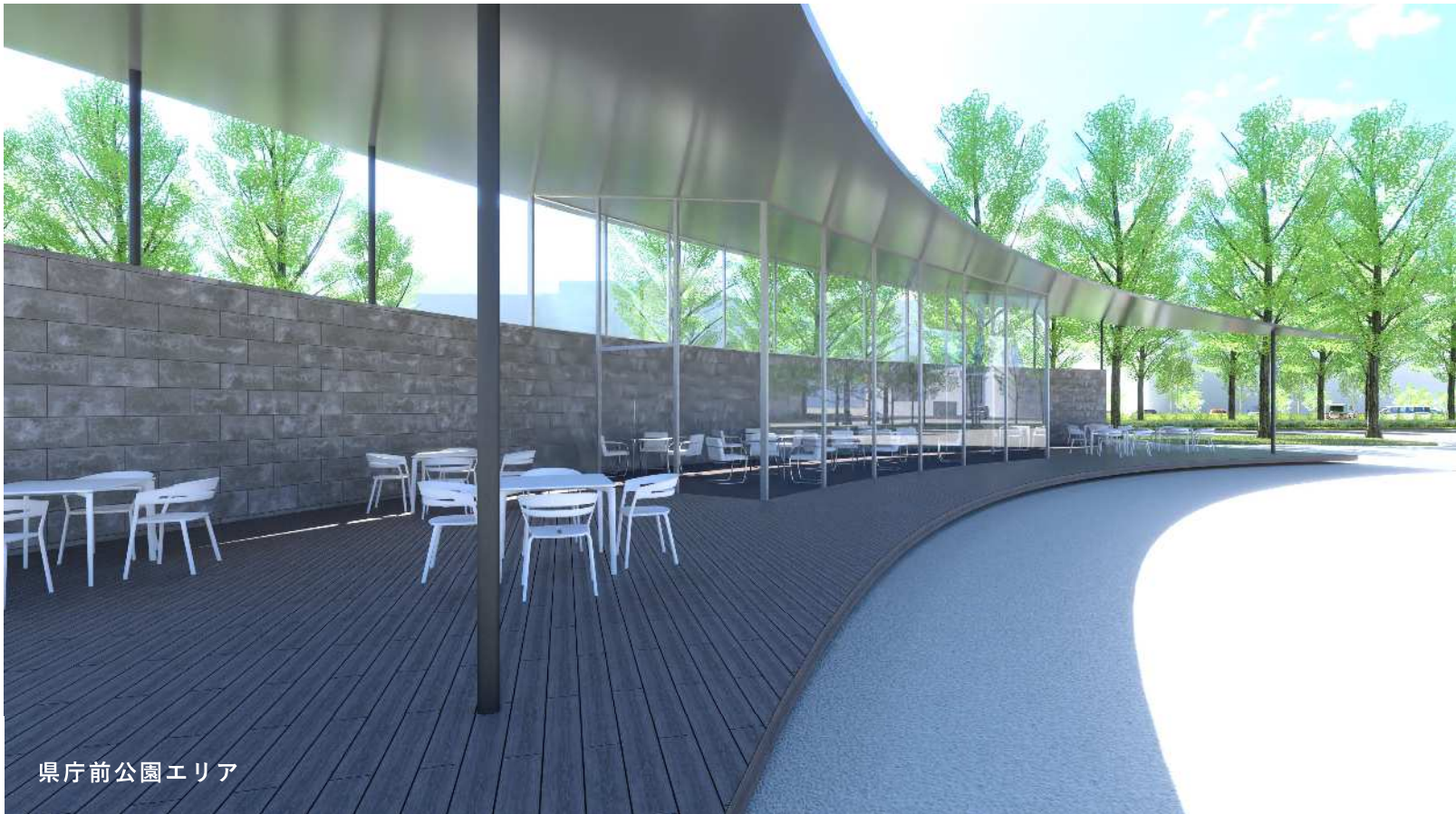
富山県庁敷地エリア



富山県庁敷地

ふと訪れたくなるような駐車場にする事で、より富山県庁周辺にアクセスする機会を増やす。駐車場内の車路は、かつてこの土地にあった川を表現しており、緩やかなカーブは自ずと速度低減を促して安全な駐車場となるように配慮した。駐車スペースは、ゆとりをもって配置して木々に間に設ける事により無機質な駐車場ではなく、自然の息づく街並みとするようにしている。





県庁前公園エリア



県庁前公園エリア



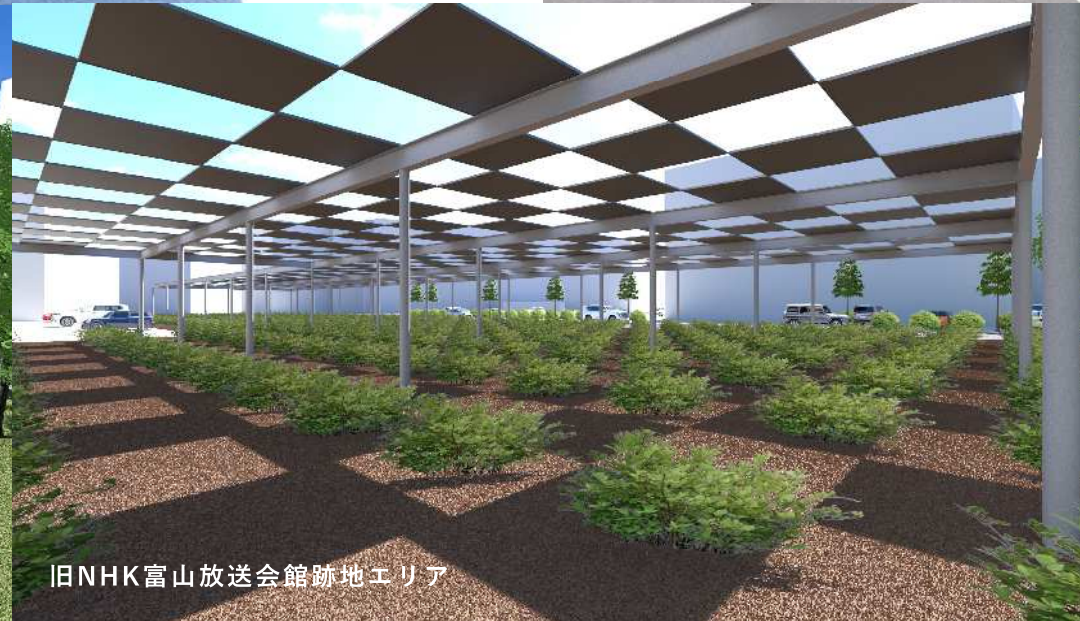
県庁前公園エリア



富山県庁敷地エリア



富山県庁敷地エリア



旧NHK富山放送会館跡地エリア